

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 重度障害者（児）福祉タクシー事業
-------------------	-------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障害者福祉の確立
小分類	3	障害者の社会参加の促進
主要な施策	1	障害者団体の自主的活動支援
事務事業番号	005	事務事業コード 13331005 事業開始年度 昭和 5 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	重度障害者（児）福祉タクシー関係経費
------	------	------------	--------------------

部 名	保健福祉部	グループ名	障害福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください） 重度在宅障がい者（児）
手段 （事業の内容・活動）	（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください） 在宅重度障がい者（児）に対し、1人月3回を限度として、対象者が利用したタクシー料金のうち、小型タクシー基本料金相当分（年36回分）のタクシーチケットを交付し助成する。
目指す姿 （成果）	（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください） 重度在宅障がい者（児）の生活圏拡大と経済的負担軽減が図られ、在宅障がい者（児）の自立更生等に寄与する。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください） 登別市重度障害者福祉タクシー事業実施要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	
成果 指標	タクシ-チケット交付件数	件	目標値	720	720	720	720	720	
			実績値	653					
				目標値					
				実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	5,376	6,159	5,547	5,547	5,547	16,641
合 計				5,376	6,159	5,547	5,547	5,547	16,641
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	159	166			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		159	166			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？
重度在宅障がい者（児）の生活圏拡大と経済的 負担軽減が図られ、在宅障がい者（児）の自立 更生等に寄与する事業であり、市が行うことは 妥当である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？
障がい者の社会参加や生活圏拡大に寄与してい る。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
交付チケットの利用頻度を上げることにより、 障がい者の社会参加が可能となる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？
重度在宅障がい者（児）の地域生活を進めるた めには、現助成制度の削減は難しい。			

担当グループによる評価

維持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	重度在宅障がい者（児）の生活圏拡大と経済的負担軽減が図れ、在宅障がい者（児）の自立更生等に効果がある。
----	----------------------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）